

- ▶ 本県の令和4年スギ素材生産量は年間187万m³あり、平成3年から32年連続日本一であるが、林業担い手の減少や高齢化などから伐採後に再造林されない森林が増えつつあり、担い手の確保が大きな課題となっている。
- ▶ このため、造林作業の主要な担い手である森林組合において、新規就業者の確保につながる造林作業のインターンシップを実施した。

□ 事業内容

1 造林担い手インターンシップモデル事業

- ・ インターンシップの受入先となる森林組合の受入体制確立に向けた指導や造林作業のインターンシップを実施

【事業費】 10,161千円（うち譲与税5,165千円）

【実績】

- ①受入体制支援：8森林組合
森林組合の作業条件・労働環境等の調査や受入体制確立に向けた指導・支援
- ②お試し造林：3森林組合12人（20日間）
安全に実施可能な造林作業のインターンシップを実施



植林作業（南那珂森林組合）



植林作業（耳川広域森林組合）

□ 事業スキーム

1 委託



□ 工夫・留意した点

- ・ 森林組合が実施する募集業務に対して、人材派遣会社が助言することで20から60代の幅広い年代からの応募（応募・問い合わせ数31人）につながった。
- ・ インターンシップ参加者に対し、アンケートを実施した結果、91.7%が「今後、同様の事業があった場合には応募する」と回答し、満足度の高い事業となった。

□ 基礎データ

①令和4年度譲与額：184,332千円	②私有林人工林面積（※1）：176,375ha
③人口（※2）：1,069,576人	④林業就業者数（※2）：3,587人

※1：「2,020農林業センサス」より、※2：「R2年国勢調査」より